

# **当面の重点検討課題の概要**

## **(令和5年6月16日デジタル田園都市国家構想実現会議決定)**

# 当面の重点検討課題の概要

- ▶ 「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す「デジタル田園都市国家構想」を実現するためには、「**デジタル田園都市国家構想総合戦略**」（令和4年12月23日閣議決定）に基づく**施策を着実に実行**していくことが重要。
- ▶ このため、総合戦略に基づく**施策の取組状況について年末に向けフォローアップを行う**とともに、今般、下記の通り整理した、**施策の深化・具体化や新規施策に関する当面の重点検討課題に基づき、政府内で検討を進め、年末に改訂を行う総合戦略に位置付け、その実現を図る**こととする。

## デジタル実装の優良事例を支えるサービス/システムの横展開の加速化

- ▶ 関係府省庁が連携して、**重点的に取り組むべきデジタル実装の優良事例を支えるサービス/システムを整理した上で、効果的・効率的に横展開を推進**

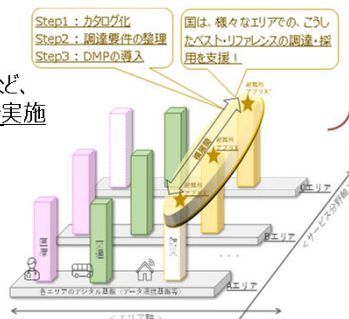


行政サービス分野について、

- ・「書かないワンストップ窓口」について、「**窓口DXSaaS機能**」をガバメントクラウド上で提供
- ・自治体の取組における**窓口業務改革（BPRを含む。）に対する人的・財政的支援の充実**等

防災分野について、

- ・防災DXサービスマップを公表するなど、**ベストリアレンスのカタログ化を先行実施**



- 医療・健康・子育て、公共交通、教育等の主要分野の優良事例を支えるサービス/システムについて、
- ・今夏を目途に**ベスト・リアレンスのカタログ化**
  - ・2023年末を目途に標準的な要件・機能等を整理し、**モデル仕様書として作成・公表**
  - ・マイナンバーカードの利活用促進プランの取りまとめ
  - ・将来的に**DMP（デジタルマーケットプレイス）との連携・活用**等

## モデル地域ビジョンの実現支援策の強化・地方創生の先進事例の横展開の推進

- 【モデル地域ビジョンの実現支援策の強化】
- ▶ モデル地域ビジョンの**施策間連携や地域間連携の取組状況を年末に向けてフォローアップし、財政上の優遇措置や地方支分部局や地方創生人材支援制度等を活用した伴走支援等の拡充**



脱炭素先行地域に対する重点支援

- ▶ **地方版総合戦略の策定状況等の継続的なフォローアップ、施策効果の分析・進捗度評価に向けた支援の実施**

- 【地方創生の先進事例の横展開の推進】
- ▶ **デジタル田園都市国家構想交付金も活用しつつ、地方創生の先進事例の横展開を丁寧に支援**




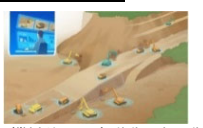
農林水産業

※スマート農業のイメージ



「デンジ活」中山間地域の取組イメージ

## 重要施策分野等に関する施策の充実

<p>▶ <b>共創による交通活性化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係省庁連携の下、<b>地域公共交通における共創の取組具体化、地域の実情に応じた幹線鉄道ネットワークの高機能化・サービス向上等の取組検討</b></li> </ul>	<p>▶ <b>地方創生スタートアップ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>ローカルスタートアップ支援制度の推進</b></li> <li>・外国人起業家等の受入促進や<b>官民の垣根を超えた人材移動の柔軟化等に向けた国家戦略特区制度の特例活用・規制改革の推進</b></li> </ul>	<p>▶ <b>こども政策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「<b>出産・子育て応援交付金</b>」の全国的な事業の定着・充実に向けた対応等の<b>方向性を取りまとめる調査研究の実施</b>等</li> </ul> <p>▶ <b>教育DX</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>GIGAスクール構想の持続的な推進</b>に向けた学校におけるICT環境の<b>新たな整備方針の策定検討</b></li> </ul>	<p>▶ <b>建築・都市のDX</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>建築BIM、3D都市モデルと不動産IDの取組を一体的に進めるとともに、不動産関係のベース・レジストリの整備を推進</b></li> <li>・令和5年度から<b>デジタルツイン</b>を先行的に構築した上で、多様なユースケースを開発し、<b>令和7年度からその社会実装に着手</b></li> </ul> <p>▶ <b>観光DX</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行者の利便性向上・周遊促進、観光産業の生産性向上、観光地経営の高度化、観光デジタル人材の育成・活用等に<b>一体的に取り組む観光DXのモデルとなる地域の創出</b>に向けた重点的な支援</li> </ul>	<p>▶ <b>デジタル技術を活用した地域防災力の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災DXを推進し、<b>防災デジタルプラットフォームの構築</b>に向け、次期総合防災情報システムにおける<b>データ共有のルール策定及び各省システムとの自動連携の充実、地方公共団体や指定公共機関との連携充実</b></li> <li>・「<b>防災DX官民共創協議会</b>」等の枠組みを活用しながら、<b>防災アーキテクチャの設計を新たに進める</b>等</li> </ul>
<p>▶ <b>物流DX</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トラックドライバーに対する時間外労働の上限規制適用を見据え、<b>物流の生産性向上を図る</b></li> </ul>  <p>無人フォークリフト</p>	<p>▶ <b>インフラDX</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インフラ整備や管理への<b>デジタル技術の活用</b>のため、</li> <li>・インフラ分野のDXにより、「<b>インフラの作り方」「インフラの使い方」「データの活かし方</b>」の変革を進める</li> </ul>  <p>建設機械施工の自動化・遠隔化</p>	<p>▶ <b>中心市街地の活性化・地方都市の再生等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>賑わいを生み出す空間づくり、老朽化施設の改修・利活用、地方都市開発に対するノウハウ支援等、必要な施策を検討し、本年度内に取りまとめを行う</b></li> <li>・「<b>地方に仕事をつくる</b>」ため、<b>製造業等の域外から稼ぐ産業の地方立地等を推進</b></li> </ul>  <p>まちなかの賑わいの創出 (熊本市)</p>  <p>産業集積の促進 (北上市)</p>	<p>▶ <b>空き家対策の推進等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>空き家の重点的活用が必要な区域の指定や空き家活用支援法人の指定による空き家の子育て世帯向けなどへの活用促進</b></li> <li>・<b>空き家と空き地のバンクや相談窓口の一元化等により、所有者不明土地等対策と一体的・総合的に推進</b></li> <li>・<b>郊外住宅団地について、住民や民間事業者等と連携した再生の手法について検討</b>等</li> </ul>  <p>空き家と空き地を地域一帯で活用 (石川県輪島市)</p>	<p>▶ <b>まちづくりGX</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市内に<b>緑地のネットワークを構築し、緑地の多様な機能を生かす</b>とともに、<b>効率的なエネルギーの利用を図るため、民間資金調達のための緑地の確保を伴う事業の客観的な評価制度の創設</b></li> <li>・<b>緑地確保や都市のエネルギー利用の再エネ化や効率化に向けた取組への支援の実施</b>等</li> </ul> <p>▶ <b>地域の魅力ある文化資源の活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>地域の魅力的な文化資源及び文化施設について、新たな目録での活用や文化観光コンテンツの造成などインバウンド向けの高付加価値化を含む地方誘客拡大に向けた取組を推進</b></li> </ul>  <p>民間事業者による緑地の創出</p>

## 人の流れの創出・拡大の強化

▶ **地方への人の流れを重層的で力強いものにし、東京圏への過度な一極集中を是正**

- 若者の地方移住に対する支援の強化
- 地方拠点強化税制の活用による企業の地方移転の更なる推進
- 地域おこし協力隊の取組の更なる推進に向けた応募者数の増加や隊員等へのサポートの充実
- 関係人口の創出・拡大に向けた施策間連携の強化
- 地方大学の振興等による地域における若者の修学及び就業の推進
- 産業立地や地域の中堅企業の振興等による良質な雇用の創出等



## デジタル田園都市国家構想の機運醸成

▶ **構想の実現に向け、官民含めた全国的な機運醸成**

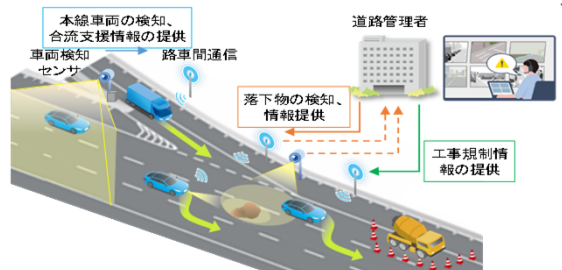
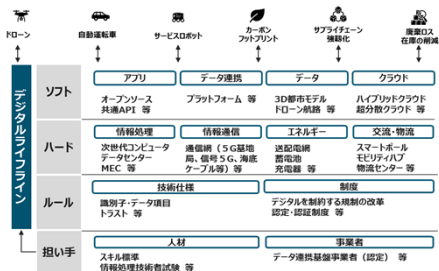
- Digi田甲子園の継続・強化
- Digi田甲子園の事例を含むデジタル実装の優良事例を利用者目線で分かりやすい形で紹介
- 総合戦略やその実行状況・成果、地域経済に関するデータを活用した地方版総合戦略の策定事例等も含め、国内外に向けた発信を強化



## デジタルライフライン全国総合整備計画の策定

▶ 「実証から実装へ」「点から線や面へ」の移行を目指し、中山間地域から都市部に至るまで、**デジタル実装の前提となるインフラ整備を強力に推進**

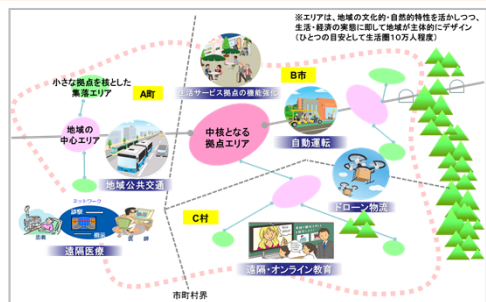
- 「デジタルライフライン全国総合整備実現会議」を設置し、「デジタルライフライン全国総合整備計画」を令和5年度中に策定
- 令和6年度にドローン航路や自動運転支援道の設定、インフラ管理のDX等を開始し、先行地域での実装を実現
- ハードインフラに加え、3D都市モデル(PLATEAU)やデータ連携基盤その他ウラノス・エコシステムで整備するソフトインフラについても、全国展開・社会実装を推進
- 実装に当たっては、「線」や「面」での実装を行う個々の事業の持続可能性を担保するための要件やKPIの明確化、政策ロードマップの作成を行う。



## デジタルとリアルが融合した地域生活圏の形成推進

▶ 本年夏に**新たな国土形成計画を策定し、「地域生活圏」の形成を推進**

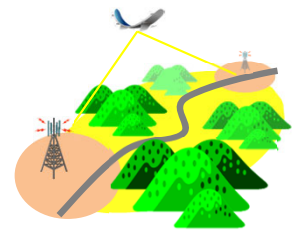
- 地域経営主体の育成を含めた官民パートナーシップ構築の環境整備など、官民が連携した先進的なモデル事例の創出やその実施に対する伴走支援、横展開
- 交通活性化、自動運転、ドローン物流、建築・都市のDXのほか、人中心のコンパクトな多世代交流まちづくりや「道の駅」の拠点機能強化等の各種関連施策を強化し、政策パッケージとして取りまとめ等



## デジタル田園都市国家インフラ整備計画の実行

▶ 4月に改訂した**デジタル田園都市国家インフラ整備計画の着実な実行**

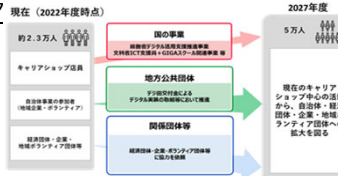
- 地域協議会も活用した、光ファイバの未整備地域の解消、「GIGAスクール構想」に資する通信環境の整備や公設光ファイバの民設移行の促進
- 非居住地域も含めた5G等のエリア整備、非常時における事業者間ローミング、自動運転・ドローンを活用したプロジェクトと連動したデジタル基盤の整備・先進的ソリューションの実装
- データセンターの分散立地の推進(第3・第4の中核拠点の構築)、国際的なデータ流通のハブ機能の強化、国際海底ケーブル等の安全対策の強化
- NTN(非地上系ネットワーク)の2025年度以降の早期国内展開に向けた技術実証の実施、制度整備
- 情報通信研究機構(NICT)に造成した新基金を活用して、Beyond 5G(6G)の研究開発を加速させ、今後5年程度で関連技術を確立



## デジタル推進委員の取組の充実

▶ 継続的にきめ細やかなサポートができるよう、デジタル推進委員の**相談体制の充実**

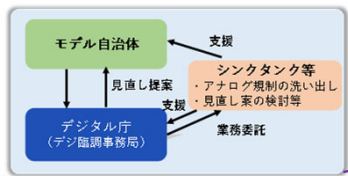
- 関係省庁の取組等と連携し、キャリアショップ中心の活動から、自治体・経済団体・企業・地域ボランティア団体への拡大
- 図書館や公民館、鉄道駅など身近な場所の活用
- 「デジ活」中山間地域の取組地域とデジタル推進委員の取組との連携を図る



## 地方公共団体におけるアナログ規制の見直し

▶ **アナログ規制の見直しを通じた地方におけるデジタル実装の支援**

- デジタル庁とモデル自治体が連携し、アナログ規制の見直しの検討を実施
- デジタル庁は上記の検討結果も踏まえ、年内を目途に「地方公共団体におけるアナログ規制の点検・見直しマニュアル(第1.0版)」を改訂し、デジタル改革のモデルケースを全国に横展開等



## 地域におけるWell-being指標の活用促進

▶ **地域におけるWell-being指標の活用促進を強化**

- デジタル田園都市国家構想交付金TYPE2/3等の採択団体を始めとする意欲ある自治体におけるWell-being指標を用いた住民の幸福度の評価・分析を促進
- 上記分析結果を地域への投資を呼び込む仕組みにつなげることで、域内外の住民を巻き込んだまちづくりの取組の活性化

